

未来をしあわせに生き抜く力を育てます。

しあわせ、みつける、かなえる。

新聞記事情報

❖ 中日新聞 尾張版

平成26年2月6日(木)掲載



SHUBUN

針1本1本に感謝

一宮、家政科の女子高生が供養

針1本1本に感謝

一宮、家政科の女子高生が供養



3年間使った針を豆腐とコンニャクに刺して供養する生徒たち＝一宮市の真清田神社で

一宮市の修文女子高等学校家政科の三年生五十人が五日、同市の真清田神社で、三年間服飾の授業で使った針の供養をした。

家政科ではファッションを学ぶ授業が多くあり、生徒が作品を制作して発表するショーも開いている。針供養は、卒業前の恒例行事となっている。

生徒代表の大野絵理さんが「小さな針一本が私たちの教養を高めた。感謝の気持ちを持って良い作品を作り、生活に生かしていきたい」と供養文を読み上げた。

(安福晋一郎)